

1. 科目名(単位数)	外国語の指導法(2単位)	3. 科目番号	EDEL2321 SJMP2301
2. 授業担当教員	澁井 とし子		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	現在、小学校3・4年生は、「外国語活動」に参加し、5・6年生は教科となった「外国語」の授業を受けている。そこで本講義では、外国語活動・外国語の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることを目標とする。児童期の第二言語習得理論を始めとする外国語教育に必要な理論を扱った後に、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語の指導への理解を深め、教育現場への実践へと繋げていく。		
8. 学習目標	1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができる。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができる。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができる。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができる。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	宿題：事前学習と事後学習の欄を見て、丁寧に授業の予習と復習を行うこと。 レポート課題：①授業振り返りシート15回分 ②グループによる指導案 ③模擬授業評価シート		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 吉田研作(監修)小川隆夫・東仁美(著)『小学校英語はじめる教科書 改訂3版 外国語・外国語活動指導者養成のために - コア・カリキュラムに沿って』mpi 加賀田哲也、太田洋(代表)小泉仁他(監修)『Here We Go! 5』光村図書(令和6年2月発行)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができたか。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができたか。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができたか。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができたか。 ○評定の方法 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク(授業中の態度、言語活動参加度、模擬授業を含む。) 30%		
12. 受講生へのメッセージ	小学校5・6年生の子どもたちがどのようにしたら週2回ある「外国語」の授業を楽しく受けることができるでしょうか?それには、教科書を教え込むのではなく、目の前の児童の興味・関心にあった授業を教員が工夫して行うことです。どのような考え方で授業をデザインし、行うとよいのかを一緒に考えましょう。		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)でアナウンスします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション Unit 1 外国語活動と外国語科の目標 授業観察	事前学習	小学校学習指導要領(文部科学省, 2017)を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴を把握する。
		事後学習	教科書第一部 Unit 1 (pp. 10-13)を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴について復習する。
第2回	Unit 2 小・中の接続と小学校の役割 授業体験	事前学習	教科書第一部 Unit 2 (pp. 14-17)を読み、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について把握する。
		事後学習	主教材の趣旨、構成、特徴について、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第3回	Unit 3 児童や学校の多様性への対応 Unit 15 外国語科の学習評価	事前学習	教科書第一部 Unit 3 と 15 (pp. 18-21, 66-69)を読み、児童や学校の多様性への対応を含む指導者の役割、学習評価について把握する。
		事後学習	指導者の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第4回	Unit 4 言語使用を通じた言語習得・音声インプット	事前学習	教科書第一部 Unit 4 (pp. 22-25)を読み、言語習得・音声によるインプットについて把握する。
		事後学習	言語習得・音声によるインプットについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第5回	Unit 5 コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動	事前学習	教科書第一部 Unit 5 (pp. 26-29)を読み、コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動について把握する。
		事後学習	コミュニケーションの目的や場面、状況等を

			明確にした言語活動について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第6回	Unit 6 音声から文字へと進むプロセス Unit 7 国語教育との連携 Unit 10 題材の選定と教材	事前学習	教科書第一部 Unit 6、7と10 (pp. 30-37, 46-49)を読み、音声から文字へと進むプロセスについて、題材の選定と教材について把握する。
		事後学習	受信から発信へと進むプロセス、音声から文字へと進むプロセスについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第7回	Unit 8 Classroom English, Small Talk, Teacher Talk 発話に繋がる効果的な語りかけ、発話の引き出し方と児童とのやり取りの進め方	事前学習	教科書第一部 Unit 8 (pp. 38-41)を読み、クラスルームイングリッシュを把握する。
		事後学習	クラスルームイングリッシュ、スモールトーク、ティーチャートークについて、教材研究と指導計画の立て方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第8回	Unit 9 「読むこと」と「書くこと」への導き方	事前学習	教科書第一部 Unit 9 (pp. 42-45)を読み、文字言語への導き方について把握する。
		事後学習	文字言語への導き方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第9回	Unit 13 ALT 等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方、 Unit 14 デジタル教科書の活用	事前学習	教科書第一部 Unit 13 と 14 (pp. 58-65)を読み、チーム・ティーチングとデジタル教科書の活用方法を把握する。
		事後学習	チーム・ティーチングとデジタル教科書の活用について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第10回	Unit 11 学習到達目標、指導計画 Unit 12 学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 11 と 12 (pp. 50-57)を読み、学習到達目標、指導計画と学習指導案の作り方について把握する。
		事後学習	学習指導案の作り方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第11回	Unit 12 学習指導案の作り方 模擬授業練習	事前学習	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習を行う。
		事後学習	作成した指導案に基づき、模擬授業の練習を行い、それを振り返り改善する。
第12回	模擬授業準備の最終確認と模擬授業	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第13回	模擬授業(授業観察・質疑応答・自己評価)	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第14回	模擬授業と本授業の目的の再確認とまとめ	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第15回	模擬授業の評価・クラスディスカッション・総評、振り返り・授業改善	事前学習	自分のグループの模擬授業評価シートと見学した授業の良い点と課題を参考に授業改善を行う。
		事後学習	クラスディスカッション内容を振り返り、更なる授業改善を行う。授業の総まとめを行う。